

■■■ 開催挨拶 ■■■

神戸大学情報ネットワークシステム委員会
委員長 高森 年

本日は「情報ネットワークの新たな展開」— 知のキャンパスを目指して— というところでシンポジウムを企画いたしましたところ、大変多数の方にご参加いただいております。受付で簡単なリストをお渡しいたしましたのですが、約 150 名の参加者がございます。本日は大変活発な意見交換がされることと思います。

ご挨拶文にも書かせていただきましたが、キャンパスネットワークシステムといえますのは、全国国立大学の最重要の情報処理基盤設備として、長年その設置が強く望まれていたもので、この度文部省の情報処理システム基盤整備施策の一環として、全国 31 大学一斉に予算措置がなされたものです。これにより本大学におきましても、「知のキャンパス」づくり（現在、「知のキャンパス」ということを目指して鋭意その計画を立てつつあります）の大きな足がかりとしての新構想キャンパスネットワークシステムの構築がスタートできる運びとなりました。

いうまでもなく人類が種々の情報メディアとともに知的発展を遂げてきた歴史的事実がございます。ネットワークメディアといえますのは、ネットワークコンピューティングを通じてリアルタイムの情報収集、情報の視覚化、遠隔地でのグループ研究などを実現できるものです。従いまして今や大学における高度専門教育・研究を革新的かつ意欲的に発展させるために不可欠なメディアと認識される時代となったわけです。

本日企画いたしましたシンポジウムは、基盤としての新構想ネットワークの構築をスタートするにあたりまして、学内外からこの分野に関心の深い方々にお集まりいただき、その交流をはかるとともに、ネットワークの意味と将来を改めて考えていただくために開催したものでございます。

本日は五時まで大変長丁場のシンポジウムになろうかと思いますが、その後に懇親会ということで本日参加していただきました皆様の交流ということも考えております。ぜひ多数の方のご参加を希望いたします。

また、ネットワークシステム関連企業 4 社からは最新機器等の展示をしていただいておりますので、ご休憩の時に時間がございましたら、どうぞご覧になっていただきたいと思っております。

簡単ではございますが開催の挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございます。